

東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略等の評価に対する委員コメント

○令和7年度東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

(1) 東海村に仕事をつくる に関する意見

- シェアキッチンが稼働したが、店舗を構えようとする土地がない・場所が確保できないという課題があるのではないかと。
- 平日は通勤・通学の方が多く、人が滞留しにくい。集客が見込めないことにもつながるが、人が集まる場所をどう生み出すかとセットで考えないと、創業・生産性向上につながらない。

(2) 東海村に人の流れをつくる に関する意見

- 令和6年度と比較して社会増減数（見込み）が高いことは高評価だが、なぜ増えたのかの要因については分析が必要と考えられる。
- 20～30代の社会増に対しては、住まいの確保・魅力づくりが不可欠。近隣市と比較されることになるため、東海村ならではの魅力の提示が必要では。
- 中学生から地元と関わる機会を増やすことで、将来のJターン・Uターンにつながる。大学生になってから戻るのでは遅く、若年期からの関係人口づくりが重要だと思う。

(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる に関する意見

- 特段大きな意見はなかった。

(4) 新たなにぎわいを生み出す魅力的な地域をつくる に関する意見

- 東海駅東に比べ、東海駅西は店舗なども少ないため、駅西口の賑わい創出（人の滞留を生み出す）については、検討の余地がある。
- 地域整備に対し、若年層の意見を取り入れた整備が進むと、にぎわい・創業・定住のすべてに相乗効果が期待できるのではないかと。

(5) その他

- 情報発信について、単一のSNSなどに村の情報が集約されると、若者を含めた住民に、より伝わるのではないかと。

○令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金事業評価書（案）の評価

【電子図書館導入整備事業】

- 電子化により、普段見られない資料が目に触れる機会が増えた。一方で、一般的な電子書籍サービスは、民間サービスと競合するともいえる。
- 紙の本に慣れている層は電子閲覧に抵抗がある可能性があり、利用者層の差が課題。
- 実施時は、新型コロナウイルスの影響があったかもしれないが、今後のこのサービスにどの程度力を入れていくかについて、検討の余地がある。

【シェアキッチン整備事業】

- 出店希望者が出店可能な枠以上であるという声もあることから、出店を希望する事業者のニーズに合った形で出店できているかどうかについて、注視していく必要がある。

以下の事業については、特段の評価コメントはなし。

- ・デマンドタクシーAI 配車システム導入事業
- ・スマートサービス推進事業
- ・都市計画情報デジタル化推進事業
- ・いばらきサイクルツーリズム強化推進事業